学校番号	3017

令和８年度　工業科（産業創造系）

教科	工業	科目	テキスタイルデザイン実習	単位数	６単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	教員作成の教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

テキスタイルデザイン実習は、テキスタイル製品やデザイン、ＩＣＴ技術を総合的に理解し、実習以外の科目で学んだ創造性と組み合わせて新しい製品を提案できるようになることが目標です。３年生の実習では今までに学んできたことのまとめとして位置付けています。自分の考えたアイデアをどうすれば効果的に提案できるのかを考えながら実習に取り組むなど学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
染色や抜染、ニットの編みやタオルの織りなど、テキスタイル製品に関する原理や、製品の構造について習得するとともに、製造するための各種装置や機械等を利用するテキスタイル製品に関する発展的な技術を身につける。また、製品をデザイン、設計するためのアプリケーションソフトの使い方を身につけ、製品をプレゼンテーションするための考え方や技法を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
製作しようとする製品のコンセプトを設定し、デザインや配色、形状、機能など、独自性をもって表現できる力を養う。また、製品の発表の場面では、よりよく理解してもらえるための工夫ができる。
【学びに向かう力、人間性等】
製作工程にあたり、他者と協働しながらよりよい製品を実現しようとする、学習したことを十分に成果として発揮しようとする主体的なものづくりの姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	テキスタイル製品やデザインに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解しており、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	テキスタイル製品やデザインの解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	テキスタイル製品やデザインに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
パート1	デジタルプロダクトa	作品について検討 デザインソフト練習 型紙の設計・修正 縫製作業 成果物の素材化 プレゼン資料作成	a:CAD やドローイングソフトを適切に使用することができる。また、縫製のためのミシンの扱いが身についている。 b:表現のための様々なデザインについて検討し、独自性のある作品づくりができる。また、制作した作品を効果的に発信するプレゼンテーションができる。 c:コンセプトに基づき、興味を持ち、意欲的かつ創造的に取り組んでいる。	デザインソフトの技術 縫製技術 レポート	作品コンセプト グループワーク プレゼンテーション レポート	学習状況の観察
パート2	テキスタイルⅠ	タオルの概要について ジャガード織機について コンピュータにおいて組織柄の制御を理解し、精錬・漂白では安全に作業を行い、作品を制作する 作品の評価と成果表現	a:タオルの特徴・特性・製造方法・歴史について理解している。ジャガード機の特徴について理解している。また、タオルの製造手順を理解し、作品を制作することができている。 b:各回の実習内容に興味を持ち、作業に関する意味や意図を理解し、それをレポートとして表現、発表することができている。 c:織物（ここでは特にタオル）の製造に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	CAD 操作 縫製技術 レポート	デザインの独創性 作品コンセプト レポート	学習状況の観察

パート3	テキスタイルⅡ	ニットの概要について ニット機械について コンピュータにおいてジャカード柄、組織柄の制御を行い編み出し、作品を制作する 作品の評価と成果表現	a:ニットの特徴・特性・編地の基本組織(平編み（天竺編み）/ゴム編み（リブ編み）/パール編み（リンクス編み）)について理解している。無縫製横編機の特徴について理解している。また、ジャガード柄、組織柄の作成、制御の手順を理解し、作品を制作することができている。 b:テーマに沿ったデザインを表現した作品を作成し、そのデザインの意図をレポートとして表現し、発表することができている。 c:無縫製横編機を利用した作品作りに興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	CAD 操作 ニット機械操作 レポート	デザインの独創性 作品コンセプト レポート	学習状況の観察
パート4	染色技術Ⅱ	抜染の概要について のれん柄について 縫製について 作品の評価と成果表現	a:抜染作業内容について、それぞれの作業の意義を知り、抜染による作品の特徴とデザインする上での留意事項について理解している。また，漂白・精錬、染色、抜染、縫製の手順を理解し、作品を制作することができている。 b:テーマに沿ったデザインを表現した作品を作成し、そのデザインの意図をレポートとして表現し、発表することができている。 c:抜染による作品作りに興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	染め技術 縫製技術 レポート	デザインの独創性 作品コンセプト レポート	学習状況の観察
パート5	CGⅡ	CG ソフトの種類と概念について Photoshop での作図 Illustrator での作図 作品の評価と成果表現	a: CG ソフトで制作することの意義を知り、見る人がわかりやすい資料作りとはどのようなものかを理解する。また、Illustrator や PowerPoint の利用技術を理解し、作品を制作することができている。 b:テーマに沿ったデザインを表現した作品を制作し、そのデザインの意図を発表資料として表現し、発表することができている。 c: CG ソフトを利用した作品制作に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	画像処理技術 レポート	作品発表 自己評価 相互評価 レポート	学習状況の観察

パート6	デジタルプロダクトb	ミーティング 型紙の設計 レーザーで裁断 縫製作業 他ショップ作品のアクセント レポートとしてのプレゼン資料作成	a:CADとレーザー加工機を適切に使用することができる。また、縫製のためのミシンの扱いが身についている。 b:表現のための様々なデザインについて検討し、独自性のある作品づくりができる。また、制作した作品を効果的に発信するプレゼンテーションができる。 c:コンセプトに基づき、興味を持ち、意欲的かつ創造的に取り組んでいる。	デザインソフトの技術 縫製技術 レポート	作品コンセプト グループワーク プレゼンテーション レポート	学習状況の観察
パート7	ICTによる生産管理Ⅱ	生産効率に関する学習 歩留まりの原因調査 原因の統計処理・分析 改善策の検討 プレゼンテーション 相互評価	a：生産効率の向上に関する知識が身につき、インターネット等を活用した調査および、ICT機器・ソフトを活用した統計処理を行うことができる。 b：生産を妨げる原因を分析し、生産効率の向上に向けて改善案をまとめた資料で発表することができている。 c：課題解決を意識した資料作成に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	データ処理の手法の理解 PowerPointの機能の理解 資料構成の理解 レポート	企画力 プレゼンテーション資料の表現 発表 レポート	学習状況の観察
パート8	3Dモデリング	部屋の設計 モデリングソフトの操作 部屋のモデリング プレゼンシート作成 ファイル形式変換 a-frame 記述 プレゼンテーション	a:モデリングソフトの操作方法を理解し，目的のモデルを作成することができる。また、プログラムの記述により、仮想空間上にモデルを配置することができる。 b:制作品のコンセプトを検討し、適切な表現で資料を作成し、他者に伝えることができる。 c:独創性を求め、モデルのデザインや発表資料作成を試行錯誤し、よりよい作品づくりと表現方法を実現しようとする態度がみられる。	モデリング技術 プログラム構造の理解 レポート	作品の独創性 発表資料 レポート	学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度